

企業局情報通信

K-RELEASE VOL.210

静岡県企業局

電話 054-221-2153

FAX 054-251-5381

発行 令和3年11月25日

## 水道イノベーション賞特別賞受賞

企業局西部事務所水質管理センターが研究・開発した取組が、水道イノベーション賞特別賞を受賞しました。受賞の記事は、静岡新聞にも掲載されました。

### 水道イノベーション賞とは

公益社団法人日本水道協会が制定した賞で、全国 1,334 の水道事業者の中から、さまざまな工夫を持って水道技術の課題の克服に取り組んでいる団体を表彰し、その功績をたたえることにより、新たな取組に着手する機運を高めることを目的としています。

### 取組の概要

- ・これまで、漏水原因の特定には、道路を掘削する必要がありましたが、全国で初めて、掘削せずに短時間で漏水原因を特定する判別方法を確立しました。
- ・2014年度の試行以降、この技術により、水道、工業用水、農業用水の管路で38件の漏水が疑われる事象のうち、**4割に当たる17件を漏水ではなく地下水と判別し、掘削費用の約1,700万円を削減**することができました。
- ・また、漏水であった場合でも管理者を早期特定することで、**工事期間が短縮され、交通渋滞、騒音等、社会的費用の緩和**も図られました。

さらに、この効果を県内全域に行き渡らせるために、各市町の漏水調査を受託し、技術支援を行うこととしました。これまでに**6市町**と受託協定を締結しています。

※

※令和3年11月25日現在の協定

### <受賞に当たり評価されたこと>

- ① 掘削不要となる高度な漏水元の判別技術の確立
- ② 市町への技術支援
- ③ 農業用水など他事業への展開も期待

これまでは、試掘費用と交通規制による社会的損失が発生

漏水発見

交通規制・掘削調査

調査完了



そのため、土壌の影響を受けず、漏水判定の指標となる水質項目を探し、分析結果を利用した漏水元の判別方法を確立

今後も、このような新手法の実績と効果を広く県内外の事業者へ発信することにより、全国の叡智を結集し、市町や関係団体と一体となって、高度な技術に磨きを掛けてまいります。

# 企業局総合防災訓練を実施しました

企業局では、大規模地震発生時の応急活動を迅速かつ的確に行うため、毎年、防災訓練を実施しています。去る9月1日、企業局総合防災訓練を実施しましたので報告します。なお、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言実施期間中であつたため、規模を縮小して実施しました。

## 訓練内容

- ①Web 会議システム（Zoom）を使用し、**各事務所から直接、被災状況報告**を行いました。
- ②災害時管路情報システムを Web 会議システム内で使用し、対策本部と各事務所が画面共有することにより、**被災箇所及び被災状況を情報共有**しました。

## 訓練のポイント

本年度の訓練では、新たな情報共有手段として、**Zoom** と **災害時管路情報システム** を使用し、企業局対策会議・各事務所・被災現場をつなぐことにより、直接の情報提供を試み、**災害時の確実な伝達情報、迅速な対策立案への有効性**を確認しました。

企業局対策本部



被災現場から Web で報告



被災箇所の共有



事務所から Web で報告



# 富士大淵工業団地で現場見学会を開催しました

企業局で造成中の富士大淵工業団地（面積 5.7 ha、区画数 6 区画）において、隣接する県立富士特別支援学校の児童を対象とした現場見学会を開催しました。

安全対策はもちろんのこと、随時消毒を行うだけでなく、試乗体験では密を避けるよう、重機の配置を工夫するなど、新型コロナウイルス感染症対策にも充分留意して実施しました。

施工業者の協力の下、普段は入ることができない工事現場で、建設重機のデモ走行や試乗体験を行い、建設機械の動く様子や大きさを間近で体感してもらいました。参加した児童たちからは、驚きの声や歓声があがり、非常に好評でした。また、見学の最後にはドローンによる撮影も行いました。

楽しみながら建設業のことを知ってもらえる良い機会になったほか、地域とのコミュニケーションを図る機会にもなりました。

また、この様子はテレビや新聞にも取り上げられました。

開催日 10月18日（月）

対 象 県立富士特別支援学校の  
4年生と6年生

内 容 重機のデモ走行  
重機の試乗体験  
ドローンによる記念撮影

- ・NHK（R3.10.18 放映）
- ・静岡新聞（R3.10.20 掲載）
- ・建通新聞（R3.10.25 掲載）
- ・富士ニュース（R3.10.23 掲載）



ドローンによる記念撮影



デモ走行の様子



試乗体験の様子

## 【歓びのこえ】

<児童から>

- ショベルカーに乗ってタンケンしたり、いっぱい乗り物を見てうれしかった。
- ショベルカーやブルドーザーを見て楽しい気持ちになった。
- 大きな機械に乗れて楽しかった。
- 運転してみたいと思った。

<先生から>

- 貴重な体験をさせることができ感謝です。工事や現場の理解が深まりました。

## 水道事業の業務状況(令和3年10月26日現在)

10月の使用水量は、前年度同期比で、駿豆水道は92.2%、榛南水道は93.6%、遠州水道は97.9%といずれも減少し、全体では96.8%となっています。(単位：km<sup>3</sup>、%)

水道名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			10月分	累計	10月分	累計	累計
駿豆	当該年度	100	3,000	21,400	819	5,978	27.9
	前年度同期	100	3,100	21,500	888	6,190	28.8
	前年度同期比	100.0	96.8	99.5	92.2	96.6	
榛南	当該年度	27	810	5,778	433	3,151	54.5
	前年度同期	27	837	5,805	463	3,254	56.1
	前年度同期比	100.0	96.8	99.5	93.6	96.8	
遠州	当該年度	292	8,763	62,509	4,962	35,146	56.2
	前年度同期	292	9,055	62,802	5,066	35,547	56.6
	前年度同期比	100.0	96.8	99.5	97.9	98.9	
合計	当該年度	419	12,573	89,687	6,214	44,275	49.4
	前年度同期	419	12,992	90,107	6,417	44,991	49.9
	前年度同期比	100.0	96.8	99.5	96.8	98.4	

## 工業用水道事業の業務状況(令和3年10月26日現在)

10月の使用水量は、前年度同期比で、富士川工水は103.9%、静清工水は100.5%と増加し、柿田川工水は95.9%、東駿河湾工水は94.2%、中遠工水は90.6%、西遠工水は96.4%、湖西工水は92.4と減少し、全体では95.3%となっています。(単位：km<sup>3</sup>、%)

工水名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			10月分	累計	10月分	累計	累計
柿田川	当該年度	100	3,000	21,400	2,891	20,688	96.7
	前年度同期	100	3,100	21,500	3,015	20,828	96.9
	前年度同期比	100.0	96.8	99.5	95.9	99.3	
富士川	当該年度	27	808	5,795	503	4,343	74.9
	前年度同期	46	1,417	15,473	484	4,122	26.6
	前年度同期比	58.9	57.0	37.5	103.9	105.4	
東駿河湾	当該年度	361	10,834	77,619	7,235	52,489	67.6
	前年度同期	368	11,388	78,968	7,678	52,369	66.3
	前年度同期比	98.3	95.1	98.3	94.2	100.2	
静清	当該年度	51	1,541	10,820	986	7,514	69.4
	前年度同期	52	1,550	10,874	981	7,418	68.2
	前年度同期比	99.6	99.4	99.5	100.5	101.3	
中遠	当該年度	34	1,018	7,277	393	2,899	39.8
	前年度同期	42	1,313	9,091	434	2,969	32.7
	前年度同期比	80.1	77.5	80.0	90.6	97.7	
西遠	当該年度	30	904	6,327	646	4,403	69.6
	前年度同期	34	1,061	7,444	670	4,396	59.1
	前年度同期比	86.1	85.2	85.0	96.4	100.1	
湖西	当該年度	17	496	3,475	302	2,143	61.7
	前年度同期	17	497	3,472	327	2,199	63.3
	前年度同期比	100.0	99.9	100.1	92.4	97.4	
合計	当該年度	620	18,601	132,713	12,956	94,479	71.2
	前年度同期	659	20,326	146,822	13,589	94,301	64.2
	前年度同期比	94.1	91.5	90.4	95.3	100.2	